

今週のビルマのニュース
2009年2月13日号【0906号】

今週の主なニュース：バレンタイン・キャンペーン

・活動家への長期禁固刑判決宣告が続いている。9日には全ビルマ学生会連盟のリーダー2人が3年の禁固刑判決を受けた(10日付DVB)。10日にはサイクロン被災者救援活動をして逮捕された活動家10人の裁判が始まった。裁判所に弁護士は入れなかった(12日付DVB)。また、インsein刑務所に収容されていた「88世代学生グループ」の13人が6日に遠隔地の刑務所に移送されたことがわかった。家族との面会などが困難になった(6日付イラワディ)。

・ビルマ国内で活動する全ビルマ学生会連盟など3団体が「バレンタインのバラ」キャンペーンを始めた。平和と和解を望む気持ちを表すため、パゴダにバラの花を供えたり、バラの小物を身につけるよう市民に呼びかけている(11日付DVB)。また、ビルマ連邦記念日の12日、アウンサンスーチー氏が書記長を務める国民民主連盟(NLD)が氏を始めとした政治囚の解放を求める署名集めキャンペーンを始めた。全国で展開する予定(12日付AP)。

・国連・ASEAN・軍政でつくるTCG(サイクロン被災支援を監督する機関)は9日、2011年12月までの3年間の支援計画(PONREPP)を発表した。期間中に緊急救援活動から中期的回復作業に移ることを想定し、約7億ドルの資金が必要だとしている。

その他：少数民族代表、ガンバリ特使が来日

・ビルマ連邦記念日に合わせ、少数民族団体の指導者3人が来日中。1990年総選挙でアラカン州から当選したタウンウィン氏(ビルマ連邦国民連合政府(NCGUB=ビルマの亡命政権)の教育担当大臣)、新モン州党(モン州で最大の政党)のナイトーモン議長、そしてカチン民族で弁護士のクンサー氏。12日には「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」の会合に出席した。また中曽根外務大臣に要請書を出し、「(軍政の計画通り)2010年に総選挙が強行されれば、ビルマからさらに多くの難民が流出する」と指摘。2008年憲法の内容の再検討やすべての政治囚の解放を軍政に求めるよう訴えた。

・3日までビルマを訪れていた国連のガンバリ事務総長特別顧問が11日に来日し、12日には中曽根外務大臣と会談した。外務省によれば「2010年の総選挙が国際社会に祝福されるものとなるようミャンマー政府に対し働きかけていくことで意見が一致」したとのこと(12日付外務省プレスリリース)。

・米議会上院のマケイン、マコネル、ファインスタイン、ダービン各議員がクリントン国務長官(16~18日に来日予定)に書簡を出し「2008年憲法と2010年総選挙を正当と認められない、という米政府の見解を国連などの場で表明してほしい」と呼びかけた。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

新たな発表はなし

イベントなど

・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクション - 国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、9~13日 15~16時)

・国境なき子どもたち公開講座「シリーズアジア」第10回ミャンマー 津守滋氏(元ミャンマー大使)(JICA地球ひろば、14日 14時~) *要申込

・第61回チン民族記念日祝典(市川市男女共同参画センター、15日 13時~)、第62回モン民族記念日祝典(新宿区中落合・目白大学、15日 14時~)

・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会 宇田有三「武装抵抗闘争60周年を迎えたカレン民族同盟(KNU)の今」(大阪ボランティアセンター、20日 19時~)

・ビルマ市民フォーラム例会 外国人労働者は今... 在日ビルマ人・外国人労働者のおかれている状況について(池袋・ECOとしま8階、21日 18時~)

・ドキュメンタリー「ビルマ、パゴダの影で」水戸上映会 アムネスティ・インターナショナル日本・水戸グループ主催(水戸市あむねすみと2F、3月8日 13時半開場、14時開演)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165